

LORC 第 1 研究班 2007 年度第 2 回研究会
(龍谷大学法学会と共催)

日時 7月25日(水)10:30~12:30
場所 龍谷大学深草学舎紫英館5階会議室
講師 Eric Ponthieu 氏 (EU 社会経済評議会 TEN ユニット部長)
テーマ 「都市のサステナビリティに関するEUでの研究」
司会 白石克孝 (龍谷大学法学部教授)
通訳 的場信敬 (龍谷大学 LORC 博士研究員)
出席者 白石克孝 (龍谷大学法学部教授)
富野暉一郎 (龍谷大学法学部教授)
土山希美枝 (龍谷大学法学部助教授)
広原盛明 (龍谷大学法学部教授)
斎藤文彦 (龍谷大学国際文化学部教授)
柏雅之 (早稲田大学人間科学学術院教授)
新井健一郎 (リサーチ・アシスタント)
阿波根あずさ (リサーチ・アシスタント)
清水万由子 (リサーチ・アシスタント)
西原京春 (リサーチ・アシスタント)
他 法学会から数名参加

EUの都市では失業や情勢不安、犯罪、人口増加、高齢化、少数民族問題などが大きくクローズアップされているが、一方で都市のスプロール化がすすみ、無視できない喫緊の課題として浮上している。

都市計画の欠如と市場要因により、都市エリアが無秩序、無規制に拡がりを見せ、1996年から2001年にかけて、EU新規加盟国のほぼすべての都市において、郊外エリアへの人口流出による人口減少を示している。その減少幅は最大で15%にもおよび、おそらく外部費用は非常に高額であると考えられる。

EUでは持続可能な発展のために、経済発展と社会的進化および環境の質のバランスをとる、包括的な戦略をすすめている。そして、都市エリアは、持続可能な発展戦略で提示された諸問題への対応にとって重要な責任を負っていると、都市エリアへのフォーカスと持続可能な都市の土地マネジメントが必須要件としてとらえられている。